



カケハシ・プロジェクト（米国） 日系米国人青少年招へい（JACL）の記録

1. プログラム概要

【目的】日系米国人市民同盟（Japanese American Citizens League : JACL）に選ばれた日系米国人青少年が、日本の政治や外交政策について理解を深めるとともに、関係各所での交流や意見交換を通じて自らのルーツを探求し、日本の魅力を体感しました。また、日系米国人の立場から、訪日中の学びや気づきを広く発信・共有し、今後の日米関係の強化に向けて積極的に活躍することを主目的に実施しました。

【参加者】日系米国人青少年（大学生・大学院生・社会人）及び学校関係者 計 74 名
グループ A : 25 名、グループ B : 24 名、グループ C : 25 名

【訪問地】グループ A : 東京都、沖縄県
グループ B、C : 東京都、山口県、広島県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

1 月 11 日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム:

1 月 16 日（火曜日） 成田国際空港及び羽田空港より入国
【オリエンテーション】
1 月 17 日（水曜日） 【視察】東京国立博物館
【表敬訪問】内閣総理大臣補佐官 石原 宏高 氏
1 月 18 日（木曜日） 【表敬訪問】外務大臣政務官 穂坂 泰 氏

1 月 18 日（木曜日）午後～1 月 22 日（日曜日）午前
2 つのグループに分かれ、グループ A は沖縄県、グループ B、C は山口県、広島県を訪問。地方プログラム終了後、1 月 22 日に東京都へ移動

グループ A : 沖縄県

【表敬訪問】金武町長 仲間 一 氏
【学校交流】琉球大学

【対面式・ホームステイ・歓送会】読谷村

【講義・体験】海洋環境学習「サンゴの生態」

講師：株式会社ナチュラルブルー 石橋 信宏 氏

体験：ビーチクリーン活動

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画
（アクション・プラン）の作成）

グループ B、C：山口県、広島県

【視察】柳井白壁の町並み

【視察】日本ハワイ移民資料館

【対面式・ホームステイ・歓送会】周防大島町

【日本文化体験】金魚ちょうちん製作

山口県から広島県へ移動

【視察】広島平和記念資料館

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画
（アクション・プラン）の作成）

1 月 22 日（月曜日） 【講義】「日米関係の最新動向と日系人が注目すべき理由」

講師：証券投資者保護公社 副会長 グレン・S・フクシマ 氏

1 月 23 日（火曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

成田国際空港及び羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

グループ A（訪問地：沖縄県）



1 月 19 日【表敬訪問】金武町長 仲間 一 氏



1 月 19 日【学校交流】琉球大学

	
1月21日【ホストファミリー歓送会】	1月21日【講義・体験】海洋環境学習「サンゴの生態」
グループB・C（訪問地：山口県、広島県）	
	
1月19日【日本文化体験】金魚ちょうちん製作体験	1月19日【視察】日本ハワイ移民資料館
	
1月20日【ホームステイ】周防大島町 共通プログラム（東京都）	1月21日【ホストファミリー歓送会】
	
1月17日【表敬訪問】内閣総理大臣補佐官 石原宏高氏	1月18日【表敬訪問】外務大臣政務官 穂坂泰氏

	
1 月 22 日【講義】「日米関係の最新動向と日系人が注目すべき理由」証券投資者保護公社 副会長 グレン・S・フクシマ 氏	1 月 23 日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

周防大島町でのホームステイ体験は本当に素晴らしかったです。田舎に溶け込み、島民の日常生活の中で美しさを見つけることができ、素晴らしかったです。私はこの島と島の文化が大好きになりました。13 年間日本語を勉強してきましたが、学校の外で日本語を話すのはいつも恥ずかしくて、中々上達しませんでした。しかし、このホームステイを通して長年学んできた日本語を使うことができ、自分には日本語がちゃんと備わっていたのだと実感することができました。日系 4 世として、今まで感じたことのなかった日本との繋がりを実際に見つけることができたプログラムでした。

◆ 社会人

最も印象に残ったのは、首相官邸と外務省への表敬訪問です。日米両国の交流が極めて象徴的かつ重要であると感じました。総理大臣補佐官と外務大臣政務官は、私たちのために時間を取って下さり、質問に対し誠実に回答をしてくださいました。今回の表敬訪問をきっかけに、日本の政治をもっと詳しく知りたいと思うようになりました。

◆ 大学生

琉球大学での交流が特に印象に残りました。私のグループでは、日本人学生と共に、日本人の移民パターンと祖先の実際の移民事例について深く議論することが出来ました。また、私たちの多くの祖先が第二次世界大戦中に強制収容所収容されていたといった祖先の経験を共有し、日系米国人の実際の生活についても話すことができました。学校交流プログラムは、参加者全員にとって学びの機会になりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

日系の米国人青少年ということで、先祖が第二次世界大戦開戦とともに収容所に入れられ過酷な収容所生活を強いられたことをそれぞれ話してくれ、様々な差別や偏見と戦わざるを得なかったことや、当時の貴重な写真も見せて頂きました。これを機にもっと日系米国人社会について学んでみたいと思います。

◆ ホストファミリー

私たちホストファミリーは、地元の人に会い、交流をし、日本の田舎を感じてもらうというテーマでこのホームステイを進めました。地域の人と一緒に太極拳をしたり、農業について話したり、文化や習慣の違いを理解し合いながら、お互いにとても有意義な交流になりました。

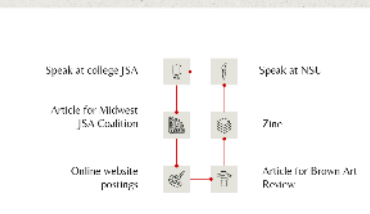
5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2024 年 1 月 19 日（Instagram） （琉球大学での学校交流は）とても楽しい時間でした。日本人学生は、期末試験真っ只中のこの期間に、私たちのために時間を取り、集まってくれました。英語もとても流暢でした。世界各地の日系移民や、日本や米国の留学事情について、意見を交わしました。	2024 年 1 月 19 日日（Instagram） 日本ハワイ移民資料館。 29,000 人がハワイに移住し、その内 4,000 人が周防大島町から移住しました。 今日の私のハイライトは、私の先祖の記録を周防大島町と広島県で見つけたことです。
	
2024 年 1 月 20 日（Instagram） 読谷村の私のホストファミリーと、作ってくれた餅と、美しい沖縄の海です。	2024 年 1 月 20 日（Instagram） 山口県の周防大島町はみかんと魚が有名で、島のほとんどの人が庭にみかんの木を植えているようでした！この写真に写っている食べ物は全て島で採れたもので、とても新鮮です。 ホームステイ中、みかんの皮をむいてオレンジジュースを作り、水の代わりにそのジュースでご飯を炊いてオレンジ飯寿司を作りました。

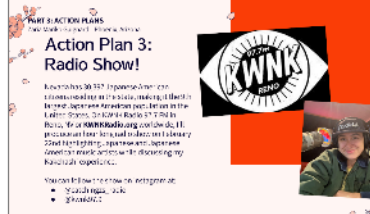
○外務省、北米局より、カケハシ・プロジェクトにより、70名を超える日系アメリカの方が来日しました。素晴らしい門来入の活躍、結果として期待がもたらがれまいた。 カケハシプロジェクトにご挨拶をさせていただきました。国連改革のこと、技術革新のこと、ご質問をいただきました。レベルが高い。ぜひ日米の絆をさらに深めていただくよう、ご活躍を期待しています。 ○国連改革の会議もありました。1 国連改革に関するご質問がございました。いただいたご質問やご質問、素晴らしいようにしっかりと答えていきます。 ○国連改革の会議の場もありました。これはカケハシプロジェクトの場が重要なことではないでしょうか。自己紹介のそれぞれの活動、それぞれの専門性を活かしてコラボする仕組みと期待しています。 ○国連改革の会議の場もありました。国連改革に関するご質問がございました。いただいたご質問やご質問、素晴らしいようにしっかりと答えていきます。 本日おはようございます。 	2024 年 1 月 19 日 (外務大臣政務官 穂坂 泰 氏 選挙ドットコムブログ) 外務省、北米局より、カケハシ・プロジェクトにより、70 名を超える日系アメリカの方が来日しました。同じルーツをもつ日系人の活躍、地元では相当苦労があるのかもしれませんが。 カケハシ・プロジェクトにご挨拶をさせていただきました。国連改革のこと、技術革新のこと、ご質問をいただきました。レベルが高い。ぜひ日米の絆をさらに深めていただくよう、ご活躍を期待しています。
---	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (抜粋)

グループ A (訪問地：東京都、沖縄県) 全 2 プラン発表

		
【訪日中の学び】 琉球王朝から続く沖縄のアイデンティティ、米軍基地の存在、社会、文化等。また日本全体について、参加者全員が新たな気づきや学びを得ました。 【日系人としてのアイデンティティの学び】 ホストファミリーとの絆を感じ、言葉の壁があってもお互いに学ぶことができました。沖縄や日本人としてのルーツを共有し、グローバル・シチズンシップ (地球市民) として、持続可能な農業や海洋保全について共に実践することができました。 【アクション・プラン】 カケハシ・プロジェクトでの体験を含め日本の情報を発信します。各参加者が関係団体、SNS 等で 3 ヶ月以内に実施します。		

グループ B (訪問地：東京都、山口県、広島県) 全 2 プラン発表

		
【訪日中の学び】 日本の茶湯の精神の一つでもある「和敬清寂」について、そのコンセプトや意義についてプログラ		

ムを通して深く照し合わせて多くを学ぶことができました。

【日系米国人と日本人の相違について】

日系人として引き継いできた日本文化や慣習に今は差異があるものの、第二の故郷である我々の日本のルーツを誇りつつ、日系米国人としてのアイデンティティを胸に、今後も社会に貢献していきたいと思います。

【アクション・プラン】

日本の魅力発信や情報共有のために今後大学やクラブ、地域集会等で発信します。

特に、2月22日にネバダ KWNK ラジオ番組では日本特集があり、そこでカケハシ・プロジェクトについての情報発信をする予定です。

グループC（訪問地：東京都、山口県、広島県）全2プラン発表



【訪日中の学び】

同じ日系人でも米国内で西海岸と東海岸に住んでいるのでは、日系人同士や日本との繋がりには違いがあることが分かりました。しかし、日本の文化や習慣、言語は脈々と受け継がれており、周防大島町での日本人の日常生活に触れ、原爆資料館で廃墟から立ち上がった広島の人々の歴史を見て、日系人に見られる様々な美德である、忍耐強さや寛容さ、勤勉さ、宗教観等のルーツを知ることができました。

【アクション・プラン】各自、自分が所属する組織や学校で発行される印刷物を通して、今回得た学びを発信していきます。また、ワークショップやSNSで日系人にカケハシ・プロジェクトに関する情報を発信し、参加者を募ります。

例：

- ① シカゴ JACL の「追悼の日」（2月18日）に写真展を開催。
- ② シアトル JACL のニュースレターに掲載。
- ③ ワシントン大学日系人学生連盟のニュースレターに掲載。
- ④ リトル東京にある青少年育成 NPO「きずな」での発表。
- ⑤ JACL の SELANOCO 支部の理事として情報発信。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）